



株式会社 一蔵

Message

当社は、障がいをお持ちの方々が安心して活躍できる職場づくりを経営の重要課題の一つとして取り組んでおります。障がい者における法定雇用率の遵守はもちろんのこと、安心してキャリアを築ける環境を整え共に働く仲間として成長し合える組織を目指しています。また、地域社会との共生の観点から、障がい者施設（埼玉県の2施設）への寄付を継続的に実施し、社会的支援活動にも積極的に取り組んでおります。

この寄付活動はこれまで20年間毎年欠かさず実施してきました。

私たちの経営理念にもある「私たちのおもてなしを世界に広げる」これを実現する為にも当社が日頃よりお世話になっている地域社会の一員として、その取り組みを支援したいとの思いからこれまで地域社会への貢献を実施してきました。

更に私たちは「日本文化をもっと身近に」「世の中を楽しく変える」そういった経営理念に込められた想いを和装通じて社会貢献出来ないか考えました。

その一つとして、車椅子の方が成人式で振袖を着て“晴れの日”を迎えて頂く事を考え、約9か月の商品開発期間を経て2024年に「車椅子振袖」の発表を行いました。

このサービスに関しては前年の2倍を超えるお問合せと、たくさんの「ありがとう」をお客様より頂くことが出来ました。

今後も、社員一人ひとりの能力を最大限に発揮できる環境の提供と、社会に貢献できる取り組みの推進を通じて、ステークホルダーの皆さまの信頼に応え続けてまいります。



取締役 人事本部長 兼 管理本部長
原祥久

伝統文化でつむぐ
誰もが主役の共生社会への貢献
一蔵の障がい者支援の取り組み



Universal Design Furisode

「誰もがおしゃれに自分らしい振袖を着て、記念日を迎える」

「誰もがおしゃれに、自分らしい振袖で大切な記念日を迎えられるように」という想いから開発された、車椅子をご利用の方向けの振袖です。座った姿勢でも美しい着姿になるよう設計しており、通常の着物と比べて着脱がしやすく、身体への負担を抑えてご着用いただけます。
障がいの有無にかかわらず、「着たい」という想いに寄り添い、和装をもっと身近に楽しんでいただくためのバリアフリーな振袖です。

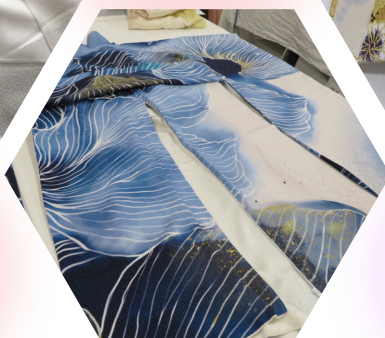
経験を活かしたアイデアを出し合いながら、商品を作っています



マジックテープとバックルで綺麗な帯が作れます



背中心のジッパーで座ったまま着脱可能に！



<https://furisode-ichikura.jp/udf/>



開発チーム メッセージ



開発のきっかけは、当社が開催する着物ファッションショーにて、車椅子をご利用のお客様が来場されている姿を目にしたことでした。車椅子をご利用の方にも、健常者と同じようにお気に入りの振袖を身にまとい、一生に一度の成人式を心から楽しんでいただきたい——

その想いから、本商品の開発はスタートしました。

開発にあたっては車椅子の構造理解をはじめ、ご利用者様やご家族へのヒアリングを重ね、約9か月の期間をかけて形にすることができました。車椅子の方だけでなく様々な障がいの方に提供できるよう、自宅でご家族が簡単に着付けできる設計にこだわり、「長時間着用しても苦しくない」「自分が着たい振袖を選んでうれしい」といったお声をいただいています。

当社は今後も、「すべての人が成人式の振袖をあきらめない社会」の実現を目指し、多様なニーズに寄り添った商品・サービスの開発に取り組んでまいります。

和装事業本部 商品部 振袖商品課 次長 高野 互

お客様の声

これまでも夏祭りの浴衣、卒業式の袴は自分たちで工夫して着せてきました。でも振袖だけはどうしても着せたいのかわからない。「着せたい。でも無理かもしれない」と思っていたとき、たまたまパンフレットの片隅に「ユニバーサルデザイン振袖」の文字を見つけ「話だけでも聞いてみよう」と思い切って電話をしてみたのがきっかけです。

「その子に合わせて作れます」と言ってもらったことや、既製の一枚から選ぶのではなく、たくさんの振袖の中から好みの一枚を選べたことなど「あきらめなくていいんだ」と胸が熱くなりました。スタジオでの撮影も難しいと思っていましたが、前撮りではベッドが運べるエレベーターを手配してもらい、写真だけではなく家族の思い出をつくることができました。

その後も友人との撮影や通所先、病院でのお祝いなど、気づけば五回も袖を通していました！

振袖を着せたいと思いながらも、方法がわからずに立ち止まっている家族は少なくないはずです。障がいがあるからといって、最初からあきらめる必要はありません。相談できる場所があり、体に合わせて仕立てるといった選択肢があることを、もっと多くの人に知ってもらいたいですね。ユニバーサルデザイン振袖が特別なものではなく、当たり前の選択肢の一つになることを願っています。





Diversity Employment 一障がい者雇用一

「安心して長く働く環境づくりのために」

一蔵では、障がいのある方が安心して働き続けられる環境づくりに取り組んでいます。サポートメンバーによる就労支援体制を整え、長く活躍できる職場づくりを進めてきました。

今後も一人ひとりに寄り添った支援を大切にしながら、誰もが活躍できる共生社会の実現に貢献してまいります。

一蔵の障がい者雇用の取り組み

- ◆ 雇用開始：2015年
- ◆ 雇用率：2.6%（2025年時点） ※法定雇用率2.5%
- ◆ 長期就業：60%が3年以上勤続

障がい者受入部署 責任者メッセージ

障がいのあるスタッフの体調管理や精神面のサポートとして、日々の面談を大切にしています。業務上の相談だけでなく、プライベートな悩みについても、一度話して終わりではなく、時間をかけて丁寧に向き合うことが長期就業につながると実感してきました。また、ジョブコーチ研修を修了した社員が常席し、常に安心して働ける環境づくりに努めています。言葉による説明だけでなく、ホワイトボードやPOPを活用した業務の「見える化」を行い、一人ひとりの特性に応じた分かりやすい指導を心がけています。さらに、当社独自の取り組みとして「体調日報」を導入しており、1日2回、体調を10段階で自己評価してもらっています。出勤時は4だった方が面談後に8に上がることもあり、サポート側の安心や、やりがいにつながっています。できるようになった業務を記録して「これでもできるようになったね」と伝え、スタッフの目が輝く瞬間があるんです。今後も、一人ひとりが安心して働き続けられる環境づくりと成長支援に取り組んでまいります。

管理本部 総務部 第二総務課 主任 武田 まなみ



全員の一日のタスクを
ホワイトボードにて管理し「見える化」



一人ひとりの特性に合わせた業務サポート



小さな相談、本音が伝えられる
オリジナル「体調日報」

働くスタッフの声



私は、手厚いサポート体制に魅力を感じ一蔵で働きたいと思いました。一人ひとりに合わせた丁寧な対応のおかげで、安心して長く働ける環境だと感じています。現在は、サポートメンバーと障がい者スタッフの間に立ち、業務やコミュニケーションのサポートを行っています。今後はサポート側の業務にも挑戦し、一蔵の障がい者雇用を支えられる存在になりたいです。そのためには任せてもらえる仕事の幅を広げ、自分自身の成長につなげていきたいと思っています。

管理本部 総務部 第二総務課 佐藤 徹也



プライベートではバレーボール
県代表として活躍中

就労移行支援事業所からの声

当事業所の卒業生が御社で勤務させていただいております。サポートスタッフ様と従業員の方との定期的な面談や日頃のコミュニケーションから生まれる業務指示の工夫など、管理者様の+αの取り組みが、働き続けられる環境づくりや信頼関係の構築につながっていると感じております。また、支援機関と連携した採用活動により、私どもも安心して利用者様を送り出すことができます。

就労移行支援事業所チャオ上尾 所長 庄司麻美子 様





Facility donation

「継続的な障がい者支援施設への寄付を通じた地域支援」

寄付を通じた支援の「これまで」と「これから」

一蔵は、障がい者支援に取り組む地域施設に対し、20年にわたり継続的な寄付を行っています。

公的支援が十分とは言えない現状を踏まえ、単なる物品提供にとどまらず、ニーズに即した支援を実施することで、安定した寄付の継続に寄与してまいりました。

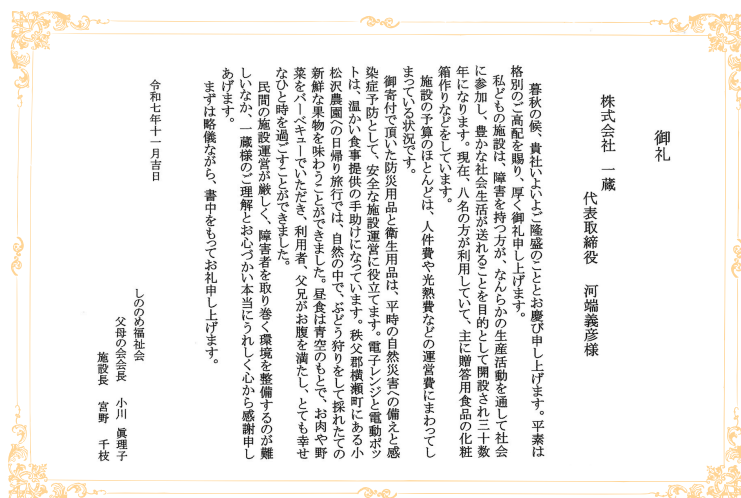
今後も、地域社会に必要とされる支援を継続的に推進してまいります。

支援先：社会福祉法人 東雲会（埼玉県所在）

支援内容：物品寄贈（PC・エアコン ほか）、日帰り旅行支援 ほか



2025年 日帰り旅行のお写真



御礼のお手紙

私たち一蔵はこれからも日本文化を通じた
持続可能な共生社会を目指し続けます

株式会社 一蔵

<https://www.ichikura.jp/>



社 名
設 立
本社所在地

株式会社一蔵
1991年2月
331-0815
埼玉県さいたま市北区大成町4-699-1
101-0041
東京都千代田区神田須田町2-5
東京神田須田町ビル7階
2026年3月
株式会社一蔵 広報

発 行 日
制 作